

中部システムサポート株式会社

看護小規模多機能型居宅介護

ナーシングケアハウスやえしま

令和3年度 第3回地域密着型サービス運営推進会議

日時:令和3年9月24日(金)

場所:看護小規模多機能型居宅介護ナーシングケアハウスやえしま

司会:荒川 裕紀子

(議題)

- ①利用者・入所者サービス提供の状況(7月～8月)
- ②行事実施状況
- ③職員研修、勉強会の報告
- ④事故・ヒヤリハット報告
- ⑤苦情報告
- ⑥前回第2回運営推進会議ご意見
- ⑦その他

次回の令和3年度 第4回運営推進会議は

令和3年11月26日(金)11:00～12:00予定です。

①利用者・入所者サービス提供の状況(7月～8月)

7月 登録人数 22人(男性 13人・女性 9人) 平均介護度 3.6

短期入所 2名

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4人	5人	2人	5人	8人

8月 登録人数 22人(男性 13人・女性 9人) 平均介護度 3.5

短期入所 1名

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3人	5人	2人	5人	8人

<新規・終了・相談>

	新規	終了	相談
令和3年7月	2人	0人	2件
令和3年8月	1人	0人	5件

*看取り・医療ケア(膀胱瘻・気管切開者等)相談あり。

*退院後利用希望 1名 (現在退院調整中。)

②行事実施状況 コロナウィルス感染対策の為、事業所内での実施

・カナリアクラブ

毎週金曜日 : 中部地区医師会訪問看護ステーション作業療法士派遣

個別の作業 集団リハビリテーション 等

・8/6(金) 消防訓練 場所:ナースingケアハウスやえしま

・8/27(金)管理栄養士による あん餃子作り

③職員研修・勉強会

(内部研修)

・7/11(日) 職員研修

研修内容①地域密着サービスにおける看護小規模多機能型居宅介護とは

②グループワーク テーマ:私たちが目指すやえしまの姿

他職種でグループワークを行い、事業所目標の設定

グループワーク後の今年度の事業所目標

チームワークを持ち笑顔で真心を込めた安らぎのある居場所作りができる
～心身の健康と幸福感～

- ・7/28(水) 食事ケアについて 摂食・嚥下・食事介助
- ・8/25(水)災害対策委員会 緊急時の対策について
BCP 策定に取り組む。

(外部研修)

- ・在宅介護医療連携
- ・接遇研修

④事故・ヒヤリハット報告

(7月)

- ・事故報告 0件
- ・ヒヤリハット 10件

(内容)①車椅子ロックかけ忘れ、トイレ内サイドバー降ろし忘れ

(対策)①安全面の確認を徹底する。指さし・声出し確認

(8月)

- ・事故報告 1件

(内容)①誤嚥(散剤うがい薬を間違っって服用)

(対策)①利用者の服薬状況や全身状態を把握。看護・介護職員でのダブルチェック
声掛け確認。配薬時は名前・服用方法の再度確認を行う。

- ・ヒヤリハット 6件

(内容)①臥床時ナースコールセット忘れ、車いす移乗時の安全確認不足

(対策)①退室、巡回時にナースコールセット徹底。確認。

*ヒヤリハット・事故報告を受けて今後の対策・対応について適宜話し合う。

⑤苦情報告

- ・7月 0件
- ・8月 0件

⑥ 前回(第2回推進会議)ご意見等

Q)学生受け入れについて感染予防について受け入れ時に気を付けていること

A)受け入れ時には状態確認を行い手袋・マスク・フェースシールド着用し実習。
訪問看護や居室内で密を避ける。体調不良時は学内実習など調整

⑦その他(報告)

・8/20 新型コロナ感染症者発生(職員)

職員の就業制限を行う。濃厚接触者 PCR 検査実施。

(対象者:利用者 6 名・職員 0 名)

PCR 検査結果。全員陰性。感染拡大なし。

・ぐしかわ看護学生実習受入れ (5 月～10 月)

(実習目的)

訪問看護ステーション及び居宅支援事業所の役割・機能を理解し在宅療養者のもつ療養上の課題を知り、療養者及び家族がもつ QOL 向上へ向けて看護者の果たす役割について学ぶ。

・併設 訪問看護ステーションやえしま

利用者 : 11 名 (うち 6 名新型コロナ感染症者)

⇒新型コロナ感染症者 在宅療養者訪問

事業所内、訪問看護師を限定し訪問。標準感染対策を行う。

・管理栄養士(毎週金曜日来訪)

栄養便り発行・栄養相談・栄養マネジメントにおける他職種カンファ・計画立案

以上

県内での新型コロナ感染症の早期終息を願い利用者様の安全・生活の安定を含め今後も職員一同真心を込めたケアを継続して参ります。